

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

5 年 1 組		指導者	池 邊 恒 至		教科等	算 数	
単 元	単元名等		小数のかけ算				
	目 標		評価規準	← ※どちらかを選択し、 <u>で囲ってください。</u>			
	知識及び技能		知識・技能	○小数の乗法の意味や計算の仕方を理解し、筆算で計算することができるようにする。また、積と被乗数の大小関係や小数の乗法の計算法則について理解できるようにする。 【A (3) ア】			
	思考力、判断力、表現力等		思考・判断・表現	◆数量の関係に着目し、整数をかける乗法をもとに、小数の乗法の意味や計算の仕方について考え、説明することができるようにする。 【A (3) イ】			
	学びに向かう力、人間性等		主体的に学習に取り組む態度	○小数の乗法の意味や計算の仕方について、既習の計算や図を用いて考えようとしたり、桁数の多い計算などについて考えようとしたりできるようにする。			
	単元の学習展開（全 1 2 時間）						
	導 入	□小数のかけ算が必要な生活場面に出合い、単元の見通しをもつ。					
	展 開	□整数×小数 □小数×小数 □積の大きさ □面積の公式と小数 □計算のきまり					
	終 末	□練習問題を用いて学習を振り返る。					

本 時 (5 / 全 12 時間)	ね ら い	<u>整数×小数の筆算について、</u> 既習の筆算を基に類推したり 10 倍して 10 で割る計算の意味と関連付けたりすることによって、 <u>積の小数点の打ち方を説明できるようにする。</u> 【◆思考力、判断力、表現力等 ノート記述】			
	学 習 過 程	<div>             「めあて」と『課題』              「整数×小数の筆算のしかたを考えよう。」              『積の小数点はどこに打つとよいかな。』           </div> <div>             『まとめ』と「振り返り」              『かける数を 10 倍したから、積を 10 でわって、小数点を左に 1 けた移すとよい。』              「かける数を 10 倍すると、整数の筆算と同じように計算できたね。」              「積が 23.0 だったら、0 は消すといいね。」              「小数×小数の場合も、今日と同じように計算できるのかな。」           </div>			
	児 童 に 対 す る 手 立 て 努 力 を 要 す 状 況 の	【予想されるつまずき】		【必要な支援・手立て】	
		・筆算で、かける数が 10 の位のかけ算を右にそろえて書いている。 ・小数点以下の末位の 0 をそのままにしている。		・これまでの学習をふり返らせ、筆算の計算の仕方を確かめさせる。 ・既習事項を確かめ、末位の 0 は斜め線で消すことを伝える。	